

保育科

1 教育目標

保育科は、開学以来、建学の精神「礼節と勤労」に基づき、豊かな人間性と教養を備えた保育士・幼稚園教諭の育成を図るとともに、広く地域社会に貢献する人材の育成を目標とする。

子どもをとりまく環境や社会が急激に変化するなか、幼保連携（幼保連携型認定こども園）への取り組みが進められるなど保育者に求められる知識や技術は、ますます多様かつ高度なものになってきている。保育科では、このような現代社会が保育者に求める高度な能力を修得するために、アクティブラーニングを用いた各講座や各種実習を通して、乳幼児の実態と保育現場への理解を深め、幼児教育や児童福祉に関する知識や指導技術を深めるとともに、現代の保護者にふさわしい保育や福祉の理念を身に付け、それを実践のなかで体現できる資質を培うことを目標とする。

2 学位授与方針

保育科

- (1) 保育者としての社会的使命と責任を自覚し、専門的な知識・技術の修得に努め、常に自己の資質向上に努めることができる。(知識・技能・向上心)
- (2) 子どもの発達段階や個性を理解し、保育を計画・実践・記録し、子どもに適切な援助や支援を行うことができる。(保育実践力)
- (3) 同僚・保護者、地域の人々と良好な人間関係を築き、相手を尊重したコミュニケーションをとることができる。(協働力・コミュニケーション力)